



三島駅南口



ふるさとガイドさん

令和2年9月17日(木)「はつらつネットふじのくに」会員事業として、「～せせらぎと花のまち～三島散策」が開催されました。参加者は当日、三島駅南口へ集合です。そして参加者全員に対し財団職員(高林さん、谷さん、斉藤さん)による体温測定と手の消毒を行った後、受付となります(写真上左)。

自然を堪能できるスポットが数多くある三島市内を、「三島市ふるさとガイドの会」スタッフさん(写真上右)の説明を受けながらの研修旅行です。写真左よりふるさとガイドの大石さん、長浜さん、池谷さんです。

今回の会員さん参加者は13名(男性2名、女性11名)です。三島駅南口から楽寿園駅前口の広場まで移動し(徒歩2分)、本日の詳細日程、また新型コロナウイルス感染拡大防止のため留意点など、諸連絡を済ませスタートです。



楽寿園1



楽寿園2

楽寿園に入ると、会員さんを2つのグループに分け(6名と7名)、ふるさとガイドさんの説明が始まります(写真上左右)。

三島市立公園「楽寿園」は、広さ約7万5千㎡の自然豊かな公園です。富士火山は伊豆半島ができた後の約10万年前に活動を始め、約1万年前に溶岩流を大量に流出しました。このうち、黄瀬川沿いに流出したものを「三島溶岩流」といい、楽寿園はその溶岩の上に立地しています。



楽寿園3



楽寿園4

小浜の森は「溶岩塚」の断面がみられる貴重なエリアです。溶岩塚は粘り気が少ない溶岩流の末端にでき、表面には溶岩塚が膨れる際にできた割れ目や、膨らんだために表層の溶岩が逆向きに流れたように見える「縄上溶岩」が観察できます(写真上左右)。



[楽寿園5](#)



[楽寿園6](#)

富士山からの地下水が湧き出る小浜池の水位は、現在59年ぶり過去最高を更新する217cmを記録しています。富士山の雪解けと降雨の影響などで湧き水が増加し、建物や周辺の深緑が水面に映える絶景が広がっています(写真上左)。

そして楽寿園正門前での記念撮影です(写真上右)。



[源兵衛川1](#)



[源兵衛川2](#)

楽寿園をあとに、源兵衛川沿いを…せせらぎを感じながらの散策です。源兵衛川は川の中に飛び石や木道などが設置してあるので「せせらぎ散歩」が満喫できる場所なのですが！…水源が楽寿園の小浜池であり…今日は、増水のためせせらぎ散歩ができないため、川沿いの道路からの散策です(写真上左右)。



[松花堂弁当](#)



[大通り散策](#)

ランチタイムの時間となりました。近くの割烹で…中に十字の仕切りがあり、刺し身、焼き物、煮物、天ぷら、などなど豪華で美味しそうな…松花堂弁当です(写真上左)。

ランチを終え、大通りに出ると…花いっぱいの街づくり「ガーデンシティ三島」推進中の様子が目に留まります。ホッとする街…三島散策です(写真上右)。



[御殿川1](#)



[御殿川2](#)

花いっぱい的大通りから、細い鎌倉古道を抜け御殿川に出ました。川沿いに綺麗に整備された花壇を見ながら…少し上流に向いて歩くと…なんと水の中に三島梅花藻を発見です。可憐で白い小さな花がイッパイ咲いていました(写真上左右)。

※御殿川→御殿川の名前は、第三代将軍徳川家光が宿泊するために造ったという、御殿の東側を流れていたことに由来しています。



[宝物館1](#)



[宝物館2](#)

御殿川を後に、再び鎌倉古道に出て歩くこと約5分、三嶋大社宝物館に到着しました(写真上左)。

宝物館内では、三嶋本日本書紀～日本書紀撰録・戦国時代を読む～戦国時代の到来・神に捧げし刀剣…などの展示品を当館の学芸員さんに説明をして頂き、鑑賞です(写真上右)。



[三嶋大社1](#)



[三嶋大社2](#)

三嶋大社です。三島市ふるさとガイドさんに三嶋大社の史跡案内、説明をして頂きました。そして全員が参拝をした後、記念撮影です(写真上左右)。



[白滝公園1](#)



[白滝公園2](#)

三嶋大社と宝物館を後に、桜川に沿った水上通り、ここには三島の地に関わりのある文学者の作品の記述が刻まれた文学碑が立ち並んでいます。この文学碑を詠みながら…歩くこと約10分、白滝公園に到着です(写真上左)。公園内は溶岩が露出し、富士山からの地下水が湧き出ています。からくり人形「めぐみの子」に、この湧き水を汲んでおもてなしをして頂きました(写真上右)。冷たくて美味しい水でした。

今回の「はつらつネットふじのくに」会員事業、「～せせらぎと花のまち～三島散策」では、三島駅南口→楽寿園→源兵衛川→昼食→大通り散策→御殿川→鎌倉古道→宝物館→三嶋大社→水上通り→白滝公園→三島駅南口のルートで散策して来ました。所要時間約4時間30分です。参加者の皆様とてもお元気な方ばかり、予定通りに無事終えることができました。皆様お疲れ様でした。

取材：中伊豆地区担当 生きがい特派員 安藤 智章